



声のラン

声

昨年秋、市街地でヒグマが出没し、とても驚き怖い思いをしました。

もう少しで春になると、冬眠から目覚めたヒグマがまた出没するのではないかと心配しています。

日ごろから気をつけておくことはありますか？

答

ほとんどのヒグマは、人の存在に気が付けば自ら遭遇を避けるため、通常人間の生活圏に出てくることはありません。昨年は、えさ不足で市街地へ出没したとの見方があるほか、人への警戒心が薄い新世代クマの可能性を指摘する専門家もいます。

ヒグマが出会い頭に人と遭遇すると、驚いて自らを守るために攻撃を加えることがあります。野山にはヒグマが生息しているものと認識し、つぎのことに注意しましょう。

【危険なヒグマをつくらない】

生ごみはヒグマにとっておいしいごちそうです。ごみの味を覚えるとそれを目当てに繰り返し出てきて、人に近づきようになります。ごみは屋外に放置せず必ず収集日の朝に出しましょう。

【ヒグマと出会わないために】

野山に入る前には出没情報を確認しましょう。野山では単独行動は行わず集団行動を心がけましょう。また、鈴やラジオなどの音の出る物を持ちしたり、見通しの悪い場所では大きな声を出したりし

春にまたヒグマが出没しないか心配です！

て、人の存在を早めにヒグマに知らせる工夫をしましょう。薄暗い早朝や夕方、濃霧時や降雨時はヒグマが人に気付きにくくなるので、できるだけ行動しないようにしましょう。

【目撃したときは】

落ち着いてその場を離れ担当までご連絡ください。

●産業振興部農業振興課生産

振興係 ☎(24)3131
内線508、515

●警察署 ☎(42)0110

※市は、市街地に近い場所ではヒグマの目撃情報があったとき、クマ防除隊を中心に痕跡確認を行っています。また、こうした情報や春と秋にヒグマによる事故を防ぐための注意事項をホームページでお知らせしています。

農業振興課生産振興係
☎(24)3131 内線508



自然との共生が大切です。

《50歳代女性》

【ワンポイントメモ】

《ヒグマ情報BOX》

①果実、木の実などエサのほとんどは植物ですが、アリやハチ、エゾシカ、ザリガニなども食べます。②見かけによらず足が速く、時速50キロメートルくらいで走るといわれています。③聴覚、嗅覚は人よりはるかに敏感です。

案内

「声のラン」では、おもに「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。そのほか皆さんからの一般的な質問などもご紹介しますので、普段から疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、ほかの市民にも参考になる内容を採用させていただくため、個人的なことなどすべてを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8636 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】